

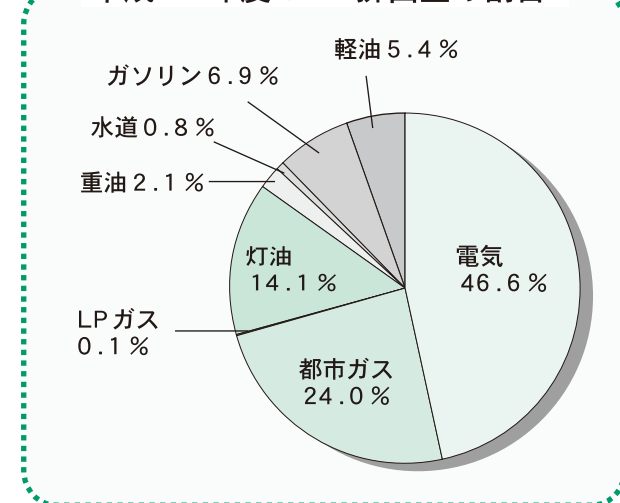
にかほ市地球温暖化防止実行計画

～平成23年度CO2削減率22.7%～

【表1】燃料別CO2排出量

項目	CO2排出量 (kg)				
	H18年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
電気	922,246	848,122	853,186	889,481	721,137
都市ガス	588,164	345,132	345,060	415,048	372,054
LPガス	2,023	1,827	1,794	1,791	1,700
灯油	236,543	218,518	219,488	252,058	218,715
重油	43,200	21,600	32,400	21,600	32,400
水道	16,888	12,305	12,262	12,128	11,562
ガソリン	104,303	105,106	98,665	104,930	106,561
軽油	90,046	92,335	82,292	84,608	83,947
合計	2,003,413	1,644,945	1,645,147	1,781,644	1,548,076

平成23年度CO2排出量の割合



平成18年度を基準にして、20年度から24年度までの5年間でCO2排出量を7%削減することを目標にした「にかほ市地球温暖化防止実行計画」に基づき、対象となる市有19施設および公用車の23年度CO2排出量を公表します。

【表2】市役所各庁舎別CO2排出量 ※象潟庁舎に構造改善センターと保健センターを含む

項目	庁舎別	CO2排出量 (kg)				
		H18年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
電気	仁賀保	65,882	74,159	69,361	66,100	53,905
	金浦	64,017	58,889	58,365	56,146	47,027
	象潟	144,858	116,783	117,667	126,548	102,692
都市ガス	仁賀保	41,180	22,740	22,546	27,716	26,630
	金浦	42,498	22,658	26,198	31,840	25,268
	象潟	130,294	65,950	63,106	84,374	77,776
水道	仁賀保	1,127	596	541	593	495
	金浦	547	534	549	556	411
	象潟	1,199	938	1,081	1,087	892
各計	仁賀保	108,189	97,495	92,448	94,409	81,030
	金浦	107,062	82,081	85,112	88,542	72,706
	象潟	276,351	183,671	181,854	212,009	181,360
3庁舎の合計		491,602	363,247	359,414	394,960	335,096

【表3】市有19施設の使用電力量削減率

No.	施設名	削減率 (%)	No.	施設名	削減率 (%)
1	象潟庁舎	33.3	11	象潟郷土資料館	18.3
2	金浦庁舎	29.3	12	金浦公民館	39.2
3	仁賀保庁舎	24.0	13	白瀬南極探検隊記念館	13.1
4	小出診療所	13.1	14	図書館コピア	16.7
5	院内診療所	24.8	15	むらすぎ荘	32.5
6	象潟保健センター	象潟庁舎を含む	16	仁賀保勤労青少年ホーム	39.5
7	金浦保健センター	19.5	17	フェアイト子ども科学館	12.8
8	スマイル	11.8	18	ガス水道局	25.2
9	象潟公民館	39.2	19	消防本部	57.1
10	象潟体育館	12.4	全19施設削減率		29.0

【表4】太陽光発電システム月別発電量

月	太陽光発電量 (kwh)	象潟庁舎使用電力量 (kwh)	割合 (%)
4月	1,440.1	22,563.1	6.4
5月	1,582.3	19,394.3	8.2
6月	1,405.4	17,107.4	8.2
7月	1,761.7	19,464.7	9.1
8月	1,596.7	22,956.7	7.0
9月	1,158.2	18,162.2	6.4
10月	1,118.5	18,051.5	6.2
11月	723.9	21,721.9	3.3
12月	256.7	28,751.7	0.9
1月	318.5	32,457.5	1.0
2月	584.1	30,747.1	1.9
3月	1,017.1	27,915.1	3.6
合計	12,963.2	279,293.2	4.6

【太陽光発電システム発電量】  
象潟庁舎では、自然エネルギーの活用や地球温暖化防止の重要性の啓発を目的に、太陽光パネル81枚の太陽光発電システム（発電量14・58kw）を導入し、庁舎の電気量の一部として利用しています。  
23年度の交流発電量は12、963kwh。象潟庁舎の総電気量の約5%が賅われました。

CO2排出量としては、約6トン削減されたこととなります。  
【平成24年度の節電対策】  
今年度においても、7月から9月までの市有19施設の使用電力量を、平成22年基準で20%削減を目指します。  
問合せ 財政課 ☎43・7509



象潟庁舎屋上に設置されている太陽光パネル

【平成23年度CO2排出量】  
平成23年度のCO2排出量は1,548,076kgで、平成18年度基準CO2削減率は22.7%となり、過去4年間で一番の削減率となりました。（20年度削減率17.9%、21年度削減率17.8%、22年度削減率11.1%、各年度、目標の7%をクリアしています）  
また、各庁舎別のCO2排出量は、335トン。平成18年度基準CO2削減率は31.8%となりました。（表2参照）

【平成23年度の取り組み】  
平成23年度は、3月11日に発生した東日本大震災により東北電力管内の電力供給能力が減少し、夏季の冷房等による大幅な電力需要の増加に伴う突発的な大規模停電の発生や、計画停電の実施が懸念されたことから、その回避を目指し、節電対策を重点的に取り組みました。  
また、職員1人ひとりの省エネに対する意識啓発をさらに図るとともに、省資源・省エネルギー活動を推進する取り組みも実施しています。

【昨夏の節電対策】  
市有19施設で、平成23年7月から9月までの使用電力量を、22年度基準で20%削減することを目標としました。  
使用最大電力量の抑制を図り、CO2削減効果を高めるとともに、電力需要のピークである重点時間帯（13時から15時）には一層の節電を実施しました。  
その結果、22年度と比較して使用電力量は29%削減されました。（表3参照）

- 主な実施項目
- ①電気機器の徹底管理  
冷房中の室温28℃を徹底する。長期に使用しない電気機器の電源プラグを抜き、待機電力量を下げるなど
  - ②OA機器の省エネルギー実施  
退席する際はシャットダウン。5分以上離席する場合は、省電力状態になるように設定するなど
  - ③消灯の徹底  
晴天時状況に応じて、窓口カウンスラー上部等を除いて照明を消灯するなど、自然光を活用する。蛍光灯の間引きなど